

陳情第31号

宇宙船地球号を守るための陳情・地球社会建設決議陳情書

平成28年2月2日受理

陳情者 横浜市中区本郷町3-287
荒木 實

要請の目的・本旨

北朝鮮が核兵器を保有。中国が南シナ海で軍事基地建設。アメリカが脱・世界の警察官。世界は自分たちで自分たちを滅ぼす混迷に突入。軍拡と温暖化で人類は死地に入った。国際社会という仕組みが元凶。軍事に関与できる人間は、世界で数百人。この数百人に、命を握られているのが世界の現実。自分を守るのは自分の責任。「地球社会建設」を叫ぶことが、自分を守る唯一の道である。地球生命46億年。恐竜がいなくなった。人間がいなくなっても不思議はない。人間という生物は、生存競争へ誘導され、核兵器・滅びの脅威にさらされている。生存競争の行き着く先は共倒れである。この見方は哲学であり、絶対真理である。全ての人間が地球で生きている。この事実をなぜ、認識できないのか。なぜ、殺し合いの準備に狂奔しているのか。宇宙船地球号の中でしか人間は生きられないのに、なぜ、そのことを理解しようとししないのか。人間は殺し合いをしてきたが、本質は「助け合う生物」である。助け合えば、安全で豊かな世界を建設できる。みんなで、地球社会建設を叫ぶようになれば、必ず、軍事の放棄、全ての人間の人生を保障する人間社会を建設できる。

人類の戦争放棄宣言

地球社会建設決議草案（戦争のない世界実現への基本原則）

- 1) 全ての人間が、地球で共同生活をしている地球市民である。地球市民は、地球のとうとさ、人間の尊厳のとうとさ、地球世界の美しさ、人間の美しさを知る者である。
- 2) 地球社会の安全と繁栄に努力することが、地球市民の基本的義務であり、責任である。
- 3) 地球社会の目的・目標は、全ての人間の人生を守ることにある。そのため、教育・雇用・生活を保障する社会技術の開発に努めねばならない。この規定は、人類の戦争放棄を意味し、国家の戦争行為、戦争準備行為の権利がないことを宣言するものである。地球市民を暴力から守る「守り人の組織」は、地球社会で一元化されるものである。
- 4) 人道・人権は地球社会の基本法である。独裁はいかなる形態でも許されない。地球社会は、民主主義が機能する社会格で構築されるものである。行き過ぎた生存競争は、人間の醜悪な心を導き出し、強大な力を求めさせ、この基本法に反することになることを知らねばならない。
- 5) 陸・海・空の空間、石油他の資源、先人の遺産は、現存する地球市民全員の共有である。地球市民の生活空間は、貸借関係保障によるものであり、多大な占有はあり得ない。地球社会で領土問題はあり得ない。
- 6) 考えることさえできない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。この方策も含め、世界中の研究所に、100年後の人類生存のための研究に着手することを要請する。